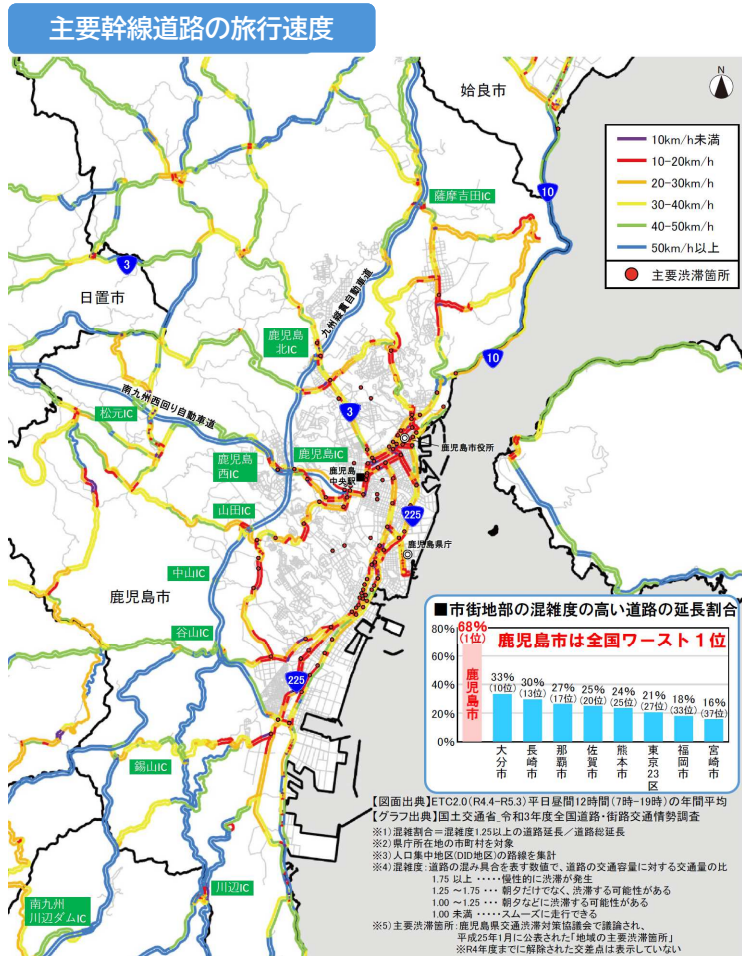


渋滞対策基本計画策定の進め方

1. 計画策定の背景・目的

(1) 背景

- 本市では、地形的制約や都市構造の要因から、市街地への入口にあたる主要幹線道路を中心に渋滞が発生している。
- 市街地における道路の混雑割合は、全国ワースト1位と極めて深刻な状況であり、物流や観光の面で定時性や速達性が確保できないなど、大きな経済損失を招いている。
- 県内の主要渋滞箇所(123箇所)のうち、約9割(106箇所)が本市に集中している。



出典：鹿児島国道事務所記者発表資料 (R6. 1. 18)

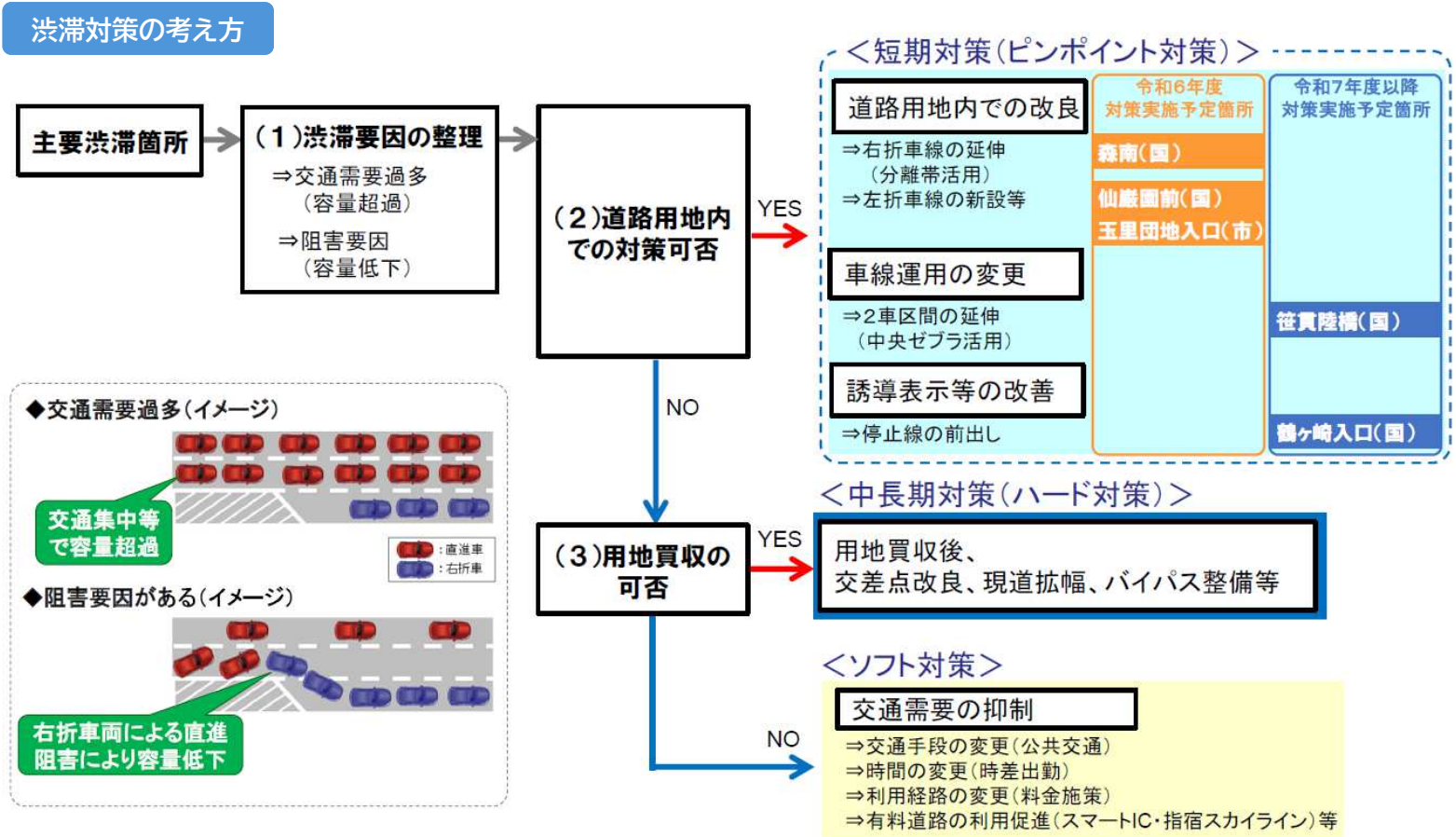


出典：令和5年第1回鹿児島県交通渋滞対策協議会資料

1. 計画策定の背景・目的

(2) 目的

- 抜本的な渋滞解消となるバイパス整備等のハード対策には、膨大な費用と時間を要することから、効果的な渋滞対策を進めていくため、ハード対策に加え、右折車線の延伸等のピンポイント対策、交通需要を抑制するソフト対策を総合的に推進していく必要がある。
- このため、幅広いスパン(短期、中期、長期)でハード・ソフトの両面から取り組む施策を掲げる「渋滞対策基本計画」を策定し、道路管理者(国、県、市等)や道路利用者(市民、事業者)が協力・連携しながら対策を実施していく。



出典：令和6年第1回鹿児島県交通渋滞対策協議会資料

2. 渋滞対策(例)

ハード対策

【鹿児島東西道路(国)】

- ◆目的
 - ・国道3号鹿児島東西道路は中心市街地へのアクセス機能の強化、国道3号の交通混雑の緩和や交通安全性の向上等を目的とした事業。
- ◆事業概要
 - ・本事業は完成4車線の自動車専用道路。
 - ・現在、田上IC～甲南IC(仮)を整備推進中。



ソフト対策

【TDM施策の考え方】



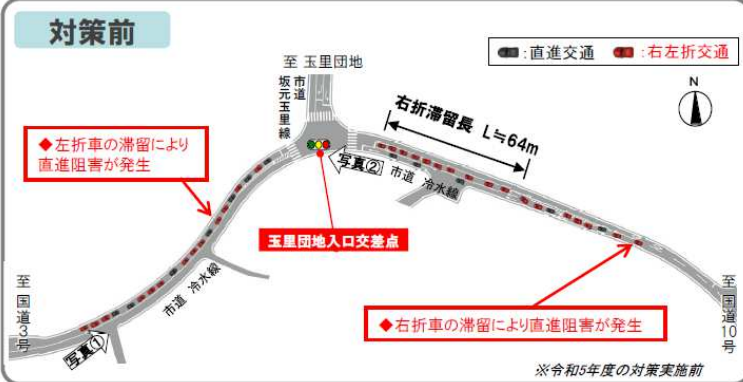
ピンポイント対策

【玉里団地入口交差点改良工事(市)】

※R4～「主要渋滞箇所対策事業」

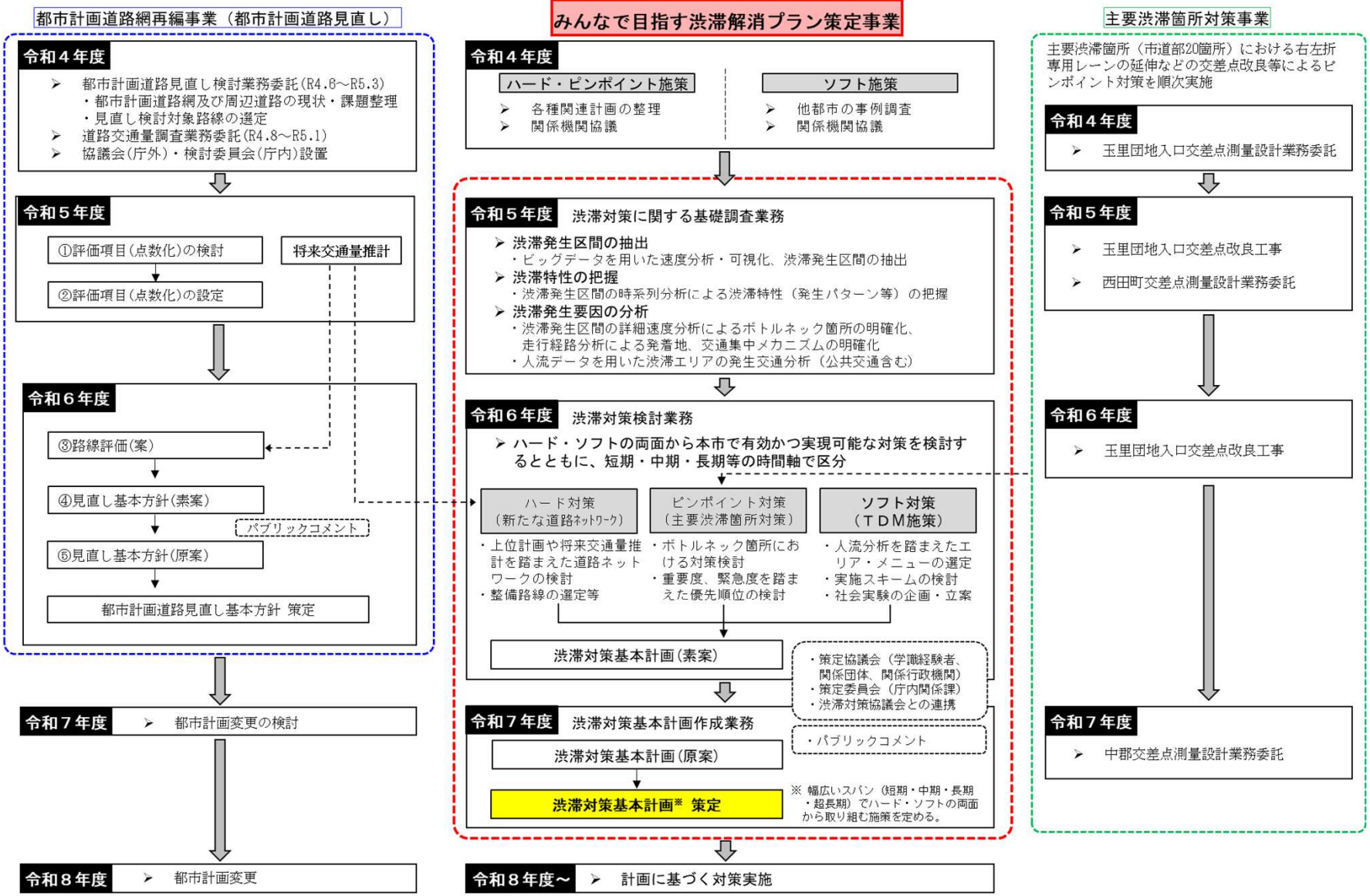


【対策】左折車線の新設 ※右折車線延伸はR5年度対策済み



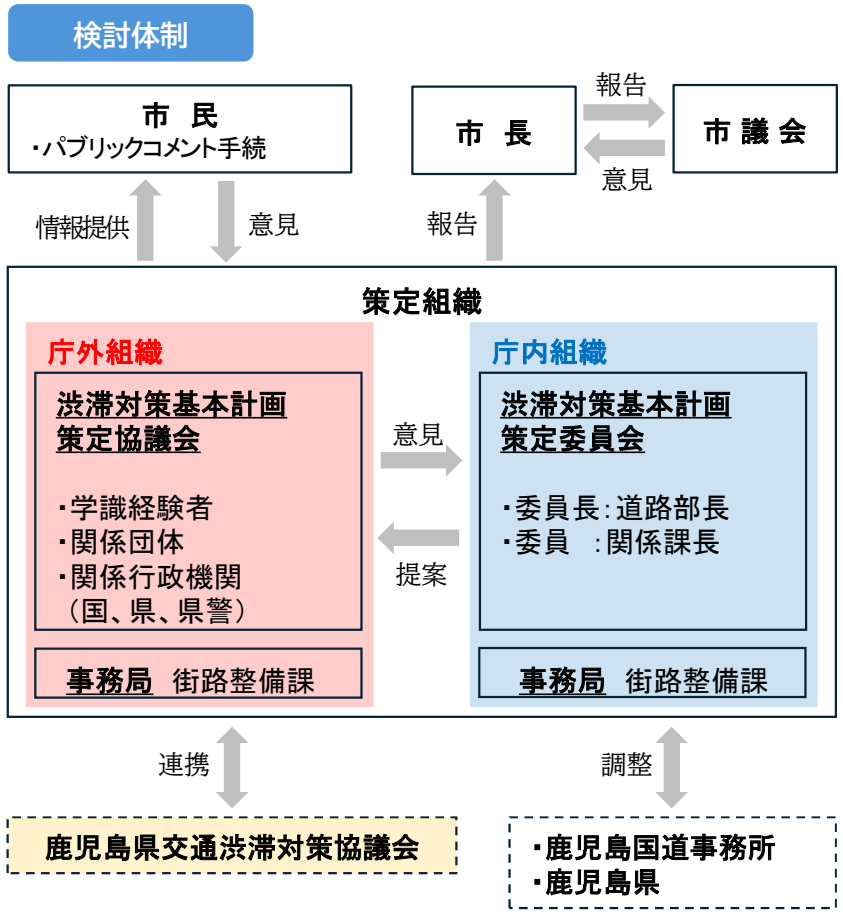
2. 計画策定に向けたスケジュール

- 令和5年度は、ビッグデータを用いた速度分析や渋滞特性、渋滞発生要因の分析等の基礎調査を実施。(資料2参照)
- 令和6年度は、基礎調査結果を踏まえハード・ソフトの両面から本市で有効かつ実現可能な対策を検討し、新たに設置する策定協議会やパブリックコメント等での意見を踏まえ、7年度末に渋滞対策基本計画を策定する。



3. 検討体制

- 計画策定にあたっては、庁内関係課で構成する「策定委員会」及び学識経験者、関係団体、関係行政機関で構成する「策定協議会」を設置し、意見を踏まえながら検討を進める。
- また、鹿児島県交通渋滞対策協議会と連携するとともに、国や県と調整を図りながら進める。



策定委員会

局	部	課	関連性
企画財政局	企画部	交通政策課	公共交通
	財政部	財政課	財政計画
環境局	環境部	環境政策課	環境施策 (かごりん、ゼロカーボンシティ等)
建設局	都市計画部	都市計画課	都市計画 (都市マス等)
		道路建設課	道路事業
		谷山建設課	道路事業
交通局		総合企画課	交通事業者 (市電、バス)

策定協議会

分野	所属・職	氏名	
学識経験者 (3人)	交通工学	熊本大学大学院先端科学研究部 教授	円山 琢也
	都市計画	鹿児島大学 工学部長	木方 十根
	社会・経済	鹿児島大学法文学部法経社会学科 教授	林田 吉恵
関係団体 (4人)	道路利用者団体	公益社団法人鹿児島県トラック協会 会長	鳥部 敏雄
		公益社団法人鹿児島県バス協会 会長	萩元 千博
	鹿児島市タクシー協会 会長	山元 勝志	
経済団体	鹿児島商工会議所 会頭	岩崎 芳太郎	
関係行政機関 (5人)	国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所 所長		竹下 卓宏
	国土交通省九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所 所長		三好 一喜
	鹿児島県土木部道路建設課 課長		森元 幸友
	鹿児島県土木部港湾空港課 課長		佐多 悦成
	鹿児島県警察本部交通部交通規制課 課長		山藤 澄博

4. 今後の予定(案)

- 令和6年度から7年度にかけて、策定委員会及び策定協議会を各4回開催予定
- 次回の第2回策定委員会では、渋滞対策の方向性や渋滞対策(案)などについて協議予定

